

第11回 親子田んぼ教室

田 植 え

山下美佐子（東金市）

日 時：2023年4月29日（土） 9時30分～12時 天気：晴れ

参加者：21名（大人11名・子ども10名）

担当指導員：萩 山下、ビオトープの会：1名 管理事務所：1名

新緑の昭和の森で親子田んぼ教室が実施された。9時15分からの受付だったが、参加者全員が早く来ていて、予定より早く田んぼ教室を開始した。「イネのひみつ」の話、今日の予定等を説明し現地へ向かった。行く道の途中では、イネが育つ田んぼの水源である湧水、アズマヒキガエルのオタマジャクシ、ニホンカワトンボ、シオヤトンボ等を観察した。

ビオトープ田んぼに着くと、案山子と鯉のぼり、ノアザミやハルジオン等の花々が出迎えてくれた。田んぼ隊長から「この田んぼのイネは森の栄養だけで育てます。美味しいお米ができるように田植えを頑張りましょう。」と声掛けをもらい、植え方の説明を聞いた。いよいよ田植えです。BGMは小鳥とシュレーゲルアオガエルの鳴声。最初はおっかなびっくりで植え始めた参加者の親子もだんだんと慣れ、途中逃げ惑うオタマジャクシやアメンボを掬ったり、柔らかな泥の感触を楽しんだりなどしていたが、あっという間に田植えは終わってしまって、「もっと植えたい」という声も。

田植えの後は生き物調べです。田んぼの周りの池や水路でたくさんの生き物を捕まえた。田んぼの生き物の生態系の話、顕微鏡でミジンコの卵、ヤゴ等の生き物を観察した。最後は元いたところに生き物を皆で帰して観察会を終えた。

観られた生き物：卵を持ったメダカ、ホトケドジョウ、ヒメアメンボ、ヨコエビ、シナヌマエビ、ヒメゲンゴロウ、アメリカザリガニ、ヤゴ、トンボの羽化、ヤマトシジミ、シオヤトンボ、ニホンカワトンボ、ナナホシテントウ、ミジンコ、カワニナ、オオタニシ、アズマヒキガエルやニホンアカガエルのオタマジャクシ、ノアザミ、ヒメジョオン等

参加者の感想：泥が気持ち良かった、もっと植えたかった、とても楽しかった、泥だらけになる機会がない子どもたちがとても喜んでいて、このようなイベントをたくさん実施してください等



田植えの後は 生き物調べを楽しんだ